

創業300年を越え、
これから先の100年も、
人々の健康のために。
小野薬品の原点を忘れず、
歩みつづけてまいります。



当社は、1717年(享保2年)に初代伏見屋市兵衛が大阪の道修町に薬種商の看板を掲げて創業し、2017年に創業300年という節目を迎え、今年、新たな一步を踏み出しました。

創業以来、わたしたちは、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、薬業一筋に邁進し、いままでにない革新的な医薬品を世界の患者さんにお届けするために、社員一丸となってたゆまぬ挑戦を続けてきました。300年という節目を越えても、その姿勢が変わることはありません。

医療を取り巻く環境は、驚くべき速さで変わりつつあります。

科学技術の進歩に加え、オープンイノベーションの進展、情報技術および工学的技術の活用など、世界レベルで環境が変化しています。一方で、国内の医療構造に目を向けると、高齢化の進展による疾病構造の変化や社会保障費の増大、種々の医療費抑制政策の促進など、製薬企業として対応すべき課題が山積しています。

どのような状況下にあっても、当社が革新的な医薬品を患者さんにお届けしていくためには、環境の変化に柔軟かつ迅速に対応することが必要です。また、多様な価値観や多様な人財を受け入れ、成長のための挑戦を続けていくことが重要だと考えています。

わたしたちは、成長の先にめざす企業のビジョンとして、独創的かつ革新的な新薬を持ち、世界のフィールドで闘える「グローバル スペシャルティ ファーマ」を掲げ、当社の強みを最大限に生かして、目標に向かって進んでいます。さらに、人々の医療に役立つ質の高い医薬品をお届けすることを根幹としながら、環境や社会への貢献も企業としての責務だと考え、CSR経営を推進しています。

これからも、人の生命にかかわる医薬品に携わるものとしての矜持を胸に、社会的責任を常に深く自覚し、病気と苦痛と闘う挑戦者でありつづける所存です。

今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 相良 暁